

ストップ!!
子ども虐待

助けての小さなサイン 受け止めて

11月は「児童虐待防止推進月間」

この月間は、子ども虐待について
の理解をより一層深め、主体的な関
わりを持っていただくための意識啓
発を図ることを目的に、4年前に定
められたものです。

ひとり、また一つの機関では、
子どもを虐待から守ることはできま
せん。「あなた」もネットワークの
一員です。子どもを虐待から守るた
めに協力してください。



こんなとき、ひとりで悩まず、相談してください

お父さん、お母さんへ

自分だけがうまく子育てできない、
助けてくれる人がいない、子どもの
行動が気に入らない、この子がいな
かったら、などと思ってしまう、自
分を追い詰めていたら。

子どもたちへ

家族の誰かに叩かれていたり、な
ぐられたりして痛い思いをしていた
り、お腹がすいてもご飯をもらえな
かったりしていたら。

あなたへ

あなたのまわりに「虐待を受けた
と思われる子ども」がいたら。

すぐに左記の連絡先あるいは地域
の児童委員(民生委員)さんに相談・
通告(連絡)してください。相談は、
変化への第一歩です。そして、通告
は子どもと家族の幸せを守るための
ものです。
通告は、医師や公務員の「守秘義
務」違反にはなりません。また、電
話で匿名でもかまいません。
たとえ間違っても、あなたが
責められることはありません。関係
機関では寄せられた情報をもとに事
実関係を調査し、状況に応じて子ど
もの様子を確認したり、保護者に連
絡をします。
もちろん、通告した人のプライバ
シーは守られます。

相談・通告先

その一本の電話が、子どもを救います

勇気を出して相談・通告してください。

子ども家庭相談課 ☎(050)509-5400
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
☎kodomomocity.takashima.shiga.jp

市内各保健センター
中央子ども家庭相談センター ☎077(566)1121

「お父さんお母さんへの手紙」

入賞作品



最優秀賞 「認知症という病気と闘う母へ」

原田 祥司 (三重県) 51歳

夜間勤務が明けてほっと一息ついて帰宅してみるとあなたの
暮らす離れの周りは地震の被災後か或いは火事の後みたい。座
布団だの空き缶だの箒に塵取り。果ては洋服から下着まで。思
い切って取り散らかされていました。

いったい何があったのか。なかなか開かない母屋の鍵をもど
かしげに開けてみると、出勤した妻からの置き紙がありました。
「夕べお義母さんがせん妄から暴れて、窓から所帯道具を投げ
出しました。大きなものは片付けましたが、お義母さんを落ち
着かせるのが精一杯でした。私も睡眠不足と疲労で離れの周り
はまだこの有様です。時間がないので後は残して出勤します」
漸く合点の行った僕は、夜勤明けの薄ぼんやりした頭と火照
った体をおして後始末にかかりました。それにしても随分と派
手にやってくれましたね。

当の本人であるあなたは僕と同様に薄ぼんやりした顔で炬燵
に包まっています。

僕は老人介護の施設に勤めているのに、あなたのこととなる
とどうしても感情が剥き出しになってしまう。乱暴な口調で上
から押し付ける様な関わり方をしてしまう。それでつい妻に押
し付けて逃げてしまっ。

施設ではただ一人の男性職員という事で入居者の皆さんから
わりと受けがいい僕なのに。あの場所では自分の中の他者に対

するやさしさを最大限に出し切れているのに。自宅ではどうし
てもあなたにやさしい言葉をかけてあげられなごころ。

これは未だにあなたに甘えているせいなのか。誰もが肉親に
は僕とあなたとの関係のようになってしまっのか。それとも幼
少時代から放任主義で育てられた我が家の子育てに問題があっ
たのか。そのあたりのところが五十代に差し掛かった今でも解
らないでいます。

ただ解っていることはあなたと僕との間には紛れもなく同じ
血が流れていると言っことです。そのことが僕にとって最大の
問題点であるとも言えますが。

僕がまだ寒さの残るこの春先、それまで勤めていた下水道資
材の販売会社を辞めて、老人介護の施設に勤めだしたのはやは
りあなたの存在がありました。間もなくあなたに来るその日。
その日のために少しでも認知症老人の生活介護を学ぼうと思
い。勿論、かといって施設の入居者さんたちを実験台になんて
ことは決してないですよ。さっきも言いましたがその証拠に僕
は施設で結構評判がいい。真剣に介護に取り組んでいますから
ね。

ただあなたにその日の来るのが予想以上に早かったみたいで
す。そして今あなたはこうして炬燵でぼんやりと丸くなってい
る。

でも大丈夫。僕にとって最高にやりにくい要介護者ですが任
せてください。認知症になったあなたと新しい関り方をしてみ
よう。今日この場で僕は決心をしましたから。もう逃げないで
あなたと向き合って参ります。

藤樹先生生誕400年を記念し募集した「お父さんお母さん
への手紙」には、全国から619通もの応募をいただきました。
今月から入賞された方の作品をシリーズでご紹介します。
図政策調整課 ☎(25)8114